

東広島市教育委員会臨時会（令和6年8月）議事録

1 日 時 令和6年8月6日（火）午後1時30分～午後3時16分

2 出席者

（1）教育長 市場教育長

（2）委員 渡部教育長職務代理者、京極委員、島本委員、柏崎委員
欠席：棚橋委員

（3）事務局 【学校教育部】

片岡学校教育部長、榊原教育参与、武上学校教育部次長兼教育総務課長、
鷹橋指導課長、高橋指導主事、井上指導主事、郡司教育総務課課長補佐兼
教育総務係長兼管理係長

（4）報告等 福田選定委員会委員長

（5）書記 戸田主事

3 場 所 本館3階 303会議室

4 議題

（1）議案事項

議案第13号 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について

開会 午後1時30分

○ 市場教育長：それでは、定足数に達していますので、令和6年8月の教育委員会臨時会を開会いたします。

本日の議事録署名委員は、京極委員と柏崎委員でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議の進行でございますが、全て公開で行いたいと思います。委員の皆さんの意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

それでは、全て公開することに決定いたします。

議案第13号 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について

○ 市場教育長：それでは、議案第13号令和7年度使用中学校教科用図書の採択についてを議題といたします。

本日の目的は、教育委員会として令和7年度に中学校で使用する教科用図書について、種目ごとに採択することです。

本件の審議については、次のような手順で行っていききたいと思います。

まず、選定委員会委員長から種目ごとの推薦内容とその理由の説明を受けます。次に、これに基づき、教育委員との質疑応答を行います。質疑応答の終了後、選定委員会委員長には退席していただき、教育委員による審議を行います。そして、教育委員会として種目ごとに教科書を採択します。

それでは早速ですが、選定委員会福田敦志委員長に令和7年度に中学校で使用する

る教科用図書採択について、推薦内容とその理由を説明していただきます。

福田委員長の入室を求めます。

それでは、福田委員長、中学校教科用図書16種目、国語、書写、社会（地理）、社会（歴史）、社会（公民）、地図、数学、理科、音楽（一般）、音楽（器楽）、美術、保健体育、技術・家庭（技術）、技術・家庭（家庭）、英語、道徳について説明をお願いいたします。

- 福田選定委員会委員長：承知いたしました。広島大学に勤めております福田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

では、教育長のお申出がありましたように、種目国語から順に説明をさせていただきます。

種目国語についてです。

対象となった4社の図書は、いずれも生徒が知識、技能を確実に習得し、国語ならではの見方、考え方を働かせながら探究的に学ぶことができるよう、各単元等の学習目標や学習活動の流れを明確に示していると考えております。また、古典を含めた様々な教材が適切な構成、配列、分量で掲載されております。さらに、これらの内容の表現、表記に当たっては、ユニバーサルデザインに配慮するとともに、2次元コードを多く掲載し、生徒が主体的に学ぶことができるよう創意工夫されております。

とりわけ、第1、第2の図書につきましては、各単元の学習活動の手順を示した手引等において、学習の見通しと振り返りがより明確に位置づけられており、生徒が国語の見方、考え方を働かせながら探究的に学べるよう配慮されていると考えます。

また、読書活動についても、お勧めの本の紹介に加えて、読書会といった活動や識者のコラムを掲載する等、生徒が主体的に読書活動に向かうよう工夫されております。そこで、全体的に見て第1、第2図書を選択いたしております。

加えて、第1図書につきましては、話し合い等を扱う単元において、発揮される言葉の力というものが明記されるとともに、テーマの例、想定される意見の例等が豊富に掲載されており、生徒の言語活動の充実に資するよう工夫されていると考えております。

一方、第2図書は、国語の学習内容と他教科との関連を冒頭の一覧表で示し、教科横断的な学習が充実するよう工夫されていると考えております。

両者を比較したところ、第1図書の方が、各教材の冒頭において吹き出しで分かりやすく課題を示し、教材の末尾の振り返りで自分の言葉でまとめさせる等、生徒の単元に対する興味関心を高め、主体的・対話的で深い学びを促す点で優位であると考えております。

以上の結果から、第1推薦の図書として東京書籍様の作品を、第2推薦の図書として光村図書の作品を推薦いたしたいと考えております。

続きまして、種目書写についてご報告申し上げます。

対象となった4社の図書は、いずれも書くときの姿勢や筆記具の持ち方について写真等を用いて示す、文字の楷書や行書の書き方について朱墨の文字を用いて点画が分かるよう示す、手本ごとに2次元コードを掲載し、運筆の動画が視聴できるようにするなど、視覚的に捉えやすくし、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されていると考えます。

また、色使いをはじめとしたユニバーサルデザインに配慮した表現、表記となっております。さらに、書き初めをはじめとした伝統や文化に関する学習活動や、書写で学んだことをふだんの生活で活用するような学習活動が設定されていることも4社に共通しておりました。

とりわけ、第1、第2図書につきましては、行書に調和する仮名の特徴が理解できるように仮名の形を図形で囲むことで分かりやすく示すなど、ほかの2社に比べて行書を学ぶ意義を生徒に気づかせる工夫があると考えます。そこで、全体的に見まして第1、第2図書を選択いたしました。

第1図書につきましては、巻頭の別冊書写ブックを取り外して硬筆の学習に活用することができ、知識や技能の定着に関する工夫があると考えます。

第2図書につきましては、生活の中の文字を書く場面を細かく具体的に設定して示し、書写で学んだことをふだんの生活の中で活用するよう工夫していると考えます。

両者を比較いたしますと、第1図書の方が、巻頭に中学書写スタートブックを配置し、書写の基礎、基本を分かりやすく示しながら学習の進め方やタブレットの活用の仕方について掲載しており、生徒の書写に対する興味関心を高め、主体的・対話的で深い学びを促す点で優位だと考えました。

以上の結果から、第1推薦の図書として光村図書の作品を、第2推薦の図書として東京書籍の作品を推薦いたしたいと考えております。

続きまして、種目社会の地理的分野についてご報告申し上げます。

対象となった4社の図書は、いずれも社会科の見方、考え方を働かせながら探究的に学ぶための工夫として、学習したことを振り返り、まとめる活動が設定されています。また、1単位時間は見開き2ページとし、全ての見開きページに学習した内容を復習する項目があり、知識及び技能の定着を図り、理解を深める工夫をしておられます。

とりわけ、第1図書、第2図書につきましては、単元のまとめの活動で具体的な見方、考え方を明示したり、見方、考え方を働かせる探究活動を設定したりしておられます。そこで、全体的に見て第1、第2図書を選択いたしました。

第1図書につきましては、チェックとトライという見出しがあり、学習した内容を振り返るだけでなく、学習内容を活用して考察したり表現したりする活動があり、基礎的、基本的な内容を確実に定着させるための工夫がなされています。また、スキルアップやもっと知りたいといった補足説明もございます。まとめを行う活動では、自らの考えを整理したり表現したりすることができるよう小グループで活

動するコーナーや、見方、考え方を働かせて探究課題に答える活動があるなど、作業的、体験的な学習が豊富に掲載されてもいます。

一方、第2図書は、各章のはじめにその章で働かせる見方、考え方にマークをつけて提示しておられます。また、基礎的、基本的な技能を身につけるために、技能をみがくというコーナーがあり、確実に知識及び技能を定着させようとする工夫がなされています。

両者を比較すると、第1図書の方が、学習内容を活用して考察したり表現したりする作業的、体験的な学習課題がより工夫されており、確実な知識及び技能の習得だけではなく、思考力、判断力、表現力等を育成するための手だてが施されている点で優位だと考えました。

以上の結果から、第1推薦の図書として東京書籍の作品、第2推薦の図書として帝国書院の作品を推薦いたします。

続きまして、社会の歴史的分野についてご報告申し上げます。

対象となった9社の図書は、いずれも1単位時間の学習課題として、どうしてもかなぜ等の問いかけを記載し、その時間の到達すべき目標を分かりやすく明示する工夫がなされていると考えます。また、各単元の導入についても、絵図や年表等を用いて、これから学習する単元の興味関心を高めるような工夫がなされています。

とりわけ、第1、第2図書につきましては、単元末のまとめにおける活動で、基礎的、基本的な知識の定着を確認する課題や、その時代の特色を文章で表現するだけではなく、探究課題の解決に向けて様々なツールを活用しながら学びを深めていくような工夫をしておられます。そこで、全体的に見て第1、第2図書を選択いたしました。

第1図書につきましては、単元構成において3段階の問いを設定することで、無理なく課題解決に向けた学習を進めることが可能であると考えます。また、様々な思考ツールを活用し学びを深める活動や、話し合い等対話的な活動も設定しておられます。さらに、毎時間デジタルコンテンツを掲載しておられますので、学校や家庭での多様な学びに対応することも可能だと考えます。

一方、第2図書は、単元構成において学習の見通しと振り返りがしやすく、学習した内容と現在の社会とのつながりが考えられるよう工夫されているものと考えます。また、文化史のページを絵画や写真資料を用いて4ページで示すとともに、各時代の様子を示した想像図を大判で入れており、導入の学習活動を行いやすくなるような工夫がなされていると考えます。

両者を比較したところ、第1図書の方が、課題解決的な単元構成における問いが充実している点に加えて、主体的・対話的で深い学びを実現させるための多様な活動が設定されているという点で優位だと考えます。

したがって、以上の結果から第1推薦の図書として東京書籍の作品、第2推薦の図書として帝国書院の作品を推薦いたします。

続きまして、社会の公民分野についてご報告申し上げます。

対象となった6社の図書は、いずれも1単位時間を見開き2ページとし、追求する知識及び技能の習得を図る工夫がなされています。また、節の末や章の末などに文章表現等を用い、単元を貫く問いをまとめる活動が設定されています。さらに、公民としての基礎的教養を培うために、現代社会を捉える見方や考え方も示しておられます。

とりわけ、第1、第2図書につきましては、節末、章末のまとめの活動で、学習者が対話を通して学習内容を深める課題解決的な活動を設定したり、探究的な学習につなげたりして、対話を通じて学びを深めていくような工夫がなされています。そこで、全体的に見て第1、第2図書を選択いたしました。

第1図書につきましては、興味関心を喚起する導入資料、何について学習するのかが分かる学習課題、学習内容を整理し、自分の言葉でまとめるチェックやトライで構成されており、知識の確実な定着を図る工夫がなされていると考えます。また、教科・分野関連のマークを配置し、他教科や他分野との関連や既習事項との関連が図られてもいます。さらに、小單元ごとに探究のステップを設定し、それらを章末で整理、分析することで、項目のねらいの達成や、主体的に取り組むことのできる学習活動を設定するなどの工夫が見られます。

一方、第2図書につきましては、全てのページに小單元を貫く問いが明示されているなど、単元全体を意識した授業が構成しやすい工夫がなされていると考えます。また、挿絵や写真、図表等の資料や、生徒が主体的に取り組むための作業的、体験的な学習も豊富でございます。さらに、各章末に思考ツールを活用したり話し合い活動等を設定したりした、「学習を振り返ろう」を設けるなどの工夫が見られます。

両者を比較いたしますと、第1図書の方が、課題解決的な学習活動や生徒が主体的に学習に取り組む活動が豊富に設定されているという点で優位だと考えました。

以上の結果から、第1推薦の図書として東京書籍の作品、第2推薦の図書として帝国書院の作品を推薦いたしたいと思えます。

次に、種目地図でございます。

対象となった2社の図書は、基礎的、基本的な学習内容の定着を図るための工夫、見方、考え方を働かせながら探究的に学ぶための工夫がなされているとともに、問題解決的な学習を展開するための工夫や、他分野での学習や現代の諸課題に関連する学習にも活用できるよう工夫されています。また、いずれも特別支援教育に係る配慮やユニバーサルデザインの取組がなされています。

第1図書は、全編を通して地形が捉えやすいように、等高段彩表現に陰影表現を合わせた立体感のある地図表現になっています。また、世界地図に同緯度、同縮尺の日本地図が掲載されており、日本との比較ができるよう工夫がなされています。さらに、地図読解のための統計資料や図版資料等に加え、2次元コードを掲載し、学習を深める動画へのリンクや地域別資料等のコンテンツが閲覧できるとともに、地図活用等の地図読解の着眼点の掲載もでございます。

一方、第2図書は、資料活用コーナーを新設し、地図の活用や学習を深めるためのヒントとなる問いが掲載されています。また、地理的分野以外の学習でも活用できるよう、主題図のタイトル横に歴史的分野、公民的分野との関連を示すアイコンがつけられてもいます。さらに、関連する資料の参照ページを示すジャンプを設け、複数の資料を関連させて見ることができるように工夫されています。

両者を比較すると、第1図書の方が、日本の基本図、拡大図、都市圏図、都市図に各地の伝統的工芸品や世界文化遺産が多く掲載されており、伝統や文化に関する学習に役立つとも考えました。また、世界、日本の資料は、地域の特色が偏らずに理解できるよう、多角的に地図、資料が選定されていることから、授業の実態に応じた幅広い学習に対応できる点で優位だと考えました。

以上の結果から、第1推薦の図書として帝国書院の作品、第2推薦の図書として東京書籍の作品を推薦いたします。

次に、種目数学でございます。

対象となった7社の図書は、学習指導要領の趣旨を踏まえ、内容に偏りなく適切に取り扱っておられます。また、どの図書も基礎的、基本的な知識や技能の習得を目指して例題や問題を構成し、他学年の関連内容等も丁寧に配置しておられます。身の回りの事象をきっかけに学習を展開するなど、生徒の興味関心を高める工夫とともに、主体的な学びにつなげるための多様な工夫や課題の精選がなされていると考えます。また、協働的な学習を意識した課題、探究的な学びの提案等、学習を深める工夫も見られました。デジタルコンテンツも利用しやすい工夫が見られ、学びの支援に大いに役立つものになっていると考えます。

その上で、第1図書は基礎的、基本的な知識や技能の習得のための丁寧な手だてとともに、日常生活や他教科、今日の社会や今日的課題、例えば防災や安全、環境、多様性の尊重、伝統文化の尊重などなどの今日的課題につきまして、それらとの関連を図り、学習内容や考え方を多方面で活用できるよう工夫しておられます。また、全ての領域においてデジタルコンテンツを備え、動画やシミュレーション等による視覚支援、フラッシュ演算での反復練習、難易度の高い問題等、幅広く充実しておられます。加えて、個別最適な学びへの対応、さらには多様な困難さを抱える生徒への支援等、ユニバーサルデザインの学びにも活用が期待されます。

第2図書につきましては、第1図書と同様、社会とのつながりを意識し、協働的な活動を多く仕組むことで学びの連続性を意識した構成になっておられます。また、対話的な場面を多く設定し、疑問を持ちながらも深い学びへと向かっていく学ぶサイクルが定着する工夫がなされていると考えます。

その上で両者を比較すると、第1図書の方が、他教科や社会、今日的課題とのつながり、デジタルコンテンツを含めた内容の充実の点で優位だと考えました。

以上の結果から、第1推薦の図書として東京書籍の作品、第2推薦の図書として教育出版の作品を推薦いたします。

続きまして、種目理科についてご報告申し上げます。

対象となった5社の図書につきましては、内容の配列、分量、内容の表現、表記に違いはございますけれども、構成について以下のような工夫がなされています。

知識及び技能の習得については、単元末に学習の整理や問題が設けられていたり、実験に係る基本操作の説明が設けられていたりするなどの工夫が見られます。思考力、判断力、表現力等の育成につきましては、見方、考え方を働かせながら探究的に学ぶための工夫が見られます。主体的に学習に取り組む工夫につきましては、学習内容に対する興味関心を高める工夫や、単元のはじめに学習を通して解決する課題を提示することで、探究的な学習を展開することができるような工夫が見られます。内容の構成、配列、分量では、伝統文化や科学の歴史についての内容を取り入れたり、教科横断的な学習の充実に関する内容を掲載したりする工夫が見られます。内容の表現、表記では、有効な写真や模式図、動画の2次元コードがございいます。また、中学生の会話のイラストがあり、生徒にとって親しみやすい表現の工夫も見られました。

その中で、第1、第2の図書につきましては、生徒が理解しやすいように資料や動画の内容、分量ともバランスよく精選し示されており、主体的に学習が進められる工夫がなされていると考えます。また、伝統や文化に関する内容や教科横断的な学習に関する内容も充実しており、全体的に見て、第1、第2の図書を選択いたしました。

第1図書につきましては、冒頭部分で探究の過程を図とイラストを用いて示すとともに、各章の最初に身近な事象を課題として設定し、学習後に再度振り返る工夫がなされています。また、単元末には、学んだ学習内容を活用し、新たな課題に取り組めるような工夫がなされてもいます。

一方、第2図書は、巻頭部分で探究の流れを図とイラストを用いて示すとともに、各章の最初と最後に課題が提示されており、学習前後の変化を比較させる工夫がなされています。

両者を比較いたしますと、第1図書の方が、生徒が探究的な学習を進めていくために、探究の過程を生徒自身が書き込むシートを領域ごとに掲載しており、探究の流れをつかみやすくするような工夫がなされている点で優位だと考えました。

以上を踏まえまして、第1推薦の図書として啓林館の作品、第2推薦の図書として東京書籍の作品を推薦申し上げます。

次に、種目音楽の一般についてをご報告申し上げます。

対象となった2社の図書につきましては、生徒の興味関心を引き出し、知識及び技能を定着させるとともに、思考力、判断力、表現力等を育成するため、それぞれに多様な学習ができるよう工夫されています。

第1図書につきましては、音楽的な見方、考え方を働かせる際の視点となる、音楽を形づくっている要素を分かりやすく提示するなど、知識の定着を図り理解を深めるための工夫が見られるほか、創作においては生徒個々が容易に創作を行い、クラス全体でも共有が可能なツールが用意されるなど、主体的かつ協働的に学習に取

り組む工夫がなされている感があります。また、生活や社会の中の音や音楽が全学年において掲載されており、SDGsに触れることも含めて、生活や社会における音や音楽の働き、音楽文化についての関心や理解を深めていくため、内容の取扱い等に工夫が見られると考えます。

一方、第2図書につきましては、鑑賞において各楽曲がどの時代につくられたのかが明確に示されているほか、音楽を形づくっている要素について図で分かりやすく説明しているなど、基礎的な知識や技能の定着を図る工夫がなされていると考えます。また、他者と協働しながら表現を工夫したり、音楽や演奏のよさや価値を考えたりする学習を展開するために、キャラクターの吹き出しで具体的な活動内容を示すほか、調べたり考えたりしたことを整理するページを掲載するなど、思考力、判断力、表現力等の育成を図る工夫が見られます。

音楽科の目標である音楽的な見方、考え方を働かせた学習活動を通じて、生活や社会の中にある音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質、能力を育成する点においては、第1図書のほうが生徒と教師が学習の視点を共有しながら授業を展開しやすく、また生活や社会の中の音や音楽との関わりを学びやすい工夫がされていると考えます。さらに、第1図書につきましては、2次元コードによる効果的なデジタルコンテンツが用意されており、生徒が個別に学習を深めたり、他者と協働して課題解決に取り組んだりするなど、主体的で多様な音楽の学習活動を展開できる可能性が感じられます。

以上の点から、第1図書のほうが優位だと考えました。

したがって、第1推薦の図書として教育芸術社の作品を、第2推薦の図書として教育出版の作品をご推薦いたします。

次に、種目音楽の器楽合奏についてご報告申し上げます。

対象となった2社の図書は、知識や技能を確実に定着させるために写真やイラストを多く使い、理解しやすい工夫がなされています。また、問題解決的な学習についても、プロの奏者のコメントを掲載することで興味関心を高めたり、友達との意見交流やアンサンブルなどの多様な活動を設定したりするなどの工夫がなされています。

第1図書につきましては、各楽器の構造や種類、奏法、構え方、運指などが的確に指示されています。また、表現の仕方を調べてみよう、吹く楽器の仲間たち、弾く楽器の仲間たちという単元において、楽器を比較しながら演奏や楽器の構造や音色などについて探究的に学習することができるよう工夫がなされています。さらに、リコーダーなどの楽器演奏では、生徒の興味関心を引き出す身近で演奏しやすい楽曲を数多く取り扱っています。楽器を、吹く楽器、弾く楽器、打楽器のまとまりで示し、我が国や諸外国の楽器や音楽文化を比較しながら理解できるような工夫も見られます。

第2図書につきましては、掲載されている楽器の基本的な奏法について、2次元コードによるデジタルコンテンツで確認することができます。また、探究的な学び

として曲に対する自分の考えを持ち、意見交流をして表現や鑑賞の学習を深めるための学びのコンパスが掲載されております。さらに、親しみや実感を持って主体的に音楽に接することができるよう、和楽器の演奏において唱歌や口三味線を歌う活動が示されています。演奏では、楽譜を提示するだけではなく、創作のページをMy Melodyとして提示し、発展的な学習の場を設定しています。

主体的・対話的で深い学びの実現を図ることや、そのために音楽的な見方、考え方を働かせ、他者と協働しながら思考、判断、表現する一連の過程を大切にしたい学習の充実を図ることが求められる中、第1図書につきましては生徒に身近な楽曲も含め、より多く楽曲を扱うことで生徒の主体性を引き出し、多様な活動を行うことが可能であると考えます。また、合奏のみならず、演奏や楽器の構造や音色、我が国や諸外国の楽器や音楽文化などについて、音楽的な見方、考え方を働かせながら整理したり、交流して共有したりする場がより多く設定されており、他者と協働しながら思考、判断、表現する学習を充実することが期待できます。さらに、ギターのコード表に運指が写真で掲載されるなど、表現、表記がより演奏法を理解しやすいものとなっており、知識や技能の定着が図りやすいと考えます。これらの点で、第1図書のほうが優位だと考えました。

以上の結果から、第1推薦の図書として教育出版の作品を、第2推薦の図書として教育芸術社の作品を推薦いたします。

続きまして、種目美術をご報告申し上げます。

対象となった3社の図書は、観点1、知識及び技能の習得においては、どれも学習目標に関連する基礎的な技法を示すなどの工夫がなされています。また、観点2の思考力、判断力、表現力等の育成につきましましては、発想、構想、鑑賞の場面における言語活動の示し方に工夫がなされています。観点3の主体的に学習に取り組む工夫におきましては、学習指導要領にある育成すべき資質、能力の3つの柱に対応した目標を題材ごとに示すなどの工夫がなされ、主体的な活動を実現するためのデジタルコンテンツも充実しています。表現及び鑑賞への興味関心を高めるため、生活や社会の中の美術の働きを示す具体例も示されています。

とりわけ、第1、第2図書につきましては、観点5の内容の表現や表記におきまして、原寸での表し方や質感のある用紙の使用等、本物に近い感覚で鑑賞できる工夫をしておられます。そこで、全体的に見て第1、第2図書を選択いたしました。

第1図書につきましては、題材のはじめに表現につながる鑑賞作品を掲載し、表現と鑑賞の相互の関係を意識し、一つの題材の中で一体的に学べる構成になっております。また、様々な表現技法や材料の使い方が掲載された別冊資料を用意し、生徒がその資料も活用しながら主体的に制作を進めていくための工夫もなされています。

第2図書につきましては、題材ごとに鑑賞への入り口と造形的な視点を示し、造形的な見方、考え方を働かせながら探究的に学ぶための工夫がなされています。また、巻末に資料ページを設定し、生きて働く知識及び技能の習得が図れる構成にな

っているとも考えます。

これら両者を比較いたしますと、第1図書の方が、生徒が主体的に考え、学びたくなる工夫がより見られる点が優位だと考えました。

以上の結果から、第1推薦の図書として光村図書の作品を、第2推薦の図書として日本文教出版の作品を推薦申し上げます。

次に、種目保健体育についてご報告申し上げます。

対象となった4社の図書は、授業内に本時の学習を振り返らせる場面や、各章末に振り返り問題を設定するなど、知識及び技能を習得させたり、カラー写真や挿絵を効果的に取り入れて興味関心を持たせたりする工夫がなされています。また、主体的に学習に取り組む工夫として、ウェブサイトやデジタルコンテンツを活用して学びを深める活動を取り入れるといった工夫がなされています。

とりわけ、第1、第2図書につきましては、配当時間と構成における工夫はもとより、主体的・対話的で深い学びの実現しやすさ、知識及び技能の習得のしやすさ等の工夫も見られます。そこで、全体的に見て第1、第2図書を選択いたしました。

第1図書につきましては、全ての内容項目を1見開き1単位時間という構成とし、学習指導要領に示されている体育理論の9項目、保健分野の48項目の配列を工夫しておられます。また、イラストや資料によって気づきや思考を促し、主体的・対話的で深い学びへの深化を図る工夫をされておられます。さらに、各章の章末においては、知識及び技能を習得させるための多様な設問が掲載されております。

第2図書につきましては、資料やキーワードに関する動画を多く掲載しており、発見した課題を解決するために興味関心を引き出し、主体的に課題解決に取り組む学習の進め方の工夫がなされています。

これらの両者を比較いたしますと、第1図書のほうが効果的な課題提示をしており、生徒にとって課題が発見しやすい工夫がなされている点で優位であると考えました。

以上の結果から、第1推薦の図書として大修館の作品を、第2推薦の図書として東京書籍の作品を推薦いたしております。

次に、種目技術・家庭の技術分野についてご報告申し上げます。

対象となった3社の図書は、技術の見方、考え方を働かせ、物づくりなどの実践的、体験的な活動を通して、よりよい生活や持続可能な社会を構築する資質、能力を育成するための様々な学習内容を取り入れておられます。また、各所に2次元コードを配置して、学習内容に沿ったデジタルコンテンツが視聴できるようになっております。

とりわけ、第1、第2図書につきましては、全体的に見て内容の構成、表示の面等において工夫が充実していることから選択いたしました。

第1図書につきましては、章末に重要語句の一覧と基礎問題を掲載し、学習の振り返りを行うことで基礎、基本の定着が図られるよう工夫しておられました。ま

た、問題解決学習を進めるに当たり、イラストの吹き出しを用いて思考するためのヒントが掲載されていたり、思考ツールを紹介し、考えを整理する方法が示されていたりするなど、主体的に取り組める工夫がなされています。加えて、PDCAサイクルの考え方を実習に取り入れ、主体的、活動的に取り組めるよう工夫がなされています。

一方、第2図書につきましては、章末に基礎問題を掲載し、学習を振り返り、基礎、基本の定着が図られるよう工夫がなされています。また、ガイダンスで問題解決のための手順を示し、その手順に沿って各章の内容が記述されており、問題の発見から課題解決までを主体的に考え、実践できるよう工夫されています。

これらの両者を比較いたしますと、第1図書のほうが、思考ツールやPDCAサイクルの活用など、より主体的、協働的な活動の充実を図っている点で優位であると考えました。

以上の結果から、第1推薦の図書として東京書籍の作品を、第2推薦の図書として開隆堂の作品をご推薦申し上げます。

次に、種目技術・家庭の家庭分野についてご報告申し上げます。

対象となった3社の図書は、家庭生活に関する基礎的、基本的な知識や技能を確実に習得させるために、写真やイラストを多く用いて生徒の興味や関心を高めておられます。作業工程などがイメージしやすいように、2次元コードにより動画や写真を用いた課題への取組方が掲載されており、主体的に学習に取り組む上での工夫が見られます。また、生活の営みに係る見方、考え方を働かせながら探究的に学ぶ工夫もされておられます。

とりわけ、第1、第2図書につきましては、全体的に見て主体的な学びにつながる工夫が充実していることから、これらの2つを選択いたします。

第1図書につきましては、五大栄養素と6つの食品群の関連を折り込みページで示し、関連を分かりやすくするための工夫がなされています。また、各編の導入は見開きで構成され、資料性の高い写真やイラスト等を用いて生徒の興味関心を高め、見方、考え方の例が示されております。さらに、動画やシミュレーション、図鑑などのデジタルコンテンツが豊富で、まつり縫いやスナップつけでは、右利き、左利きの両方のコンテンツがあるなど、多様な生徒の実態について配慮されています。

第2図書につきましては、調理実習例のページに、調理方法Q&Aとして調理のポイントがまとめられている等、知識及び技能の定着を図り、理解を深めるための工夫が見られると考えています。

これらの両者を比較しますと、第1図書のほうが、家庭科の学習を生活の自立に必要な基礎的、基本的な知識、技能の習得につなげる視点でまとめていると考え、その点で優位であると考えました。

以上の結果から、第1推薦の図書として東京書籍の作品を、第2推薦の図書として開隆堂の作品をご推薦申し上げます。

次に、種目英語でございます。

対象となった6社の図書は、生徒に興味関心を持たせる内容で構成されており、絵、写真を豊富に用いて親しみやすい表現、表記となっています。また、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう、学習の到達目標が具体的に示されてもいます。多くのページに2次元コードが設置されており、生徒が繰り返しアクセスすることで学習内容の理解や定着を図ることが可能となっています。知識を活用して思考力、判断力、表現力等を身につけながら技能を高める言語活動も多様に設定されておられます。

とりわけ、第1、第2図書につきましては、生徒が身近に感じたり考えたりすることができる内容が豊富でございます。各単元のはじめに、単元のゴールにつながる表現や写真、イラストが掲載されており、生徒にとってゴールがイメージしやすいものと考えます。4技能5領域を統合した活動や教科横断的な学習につながる内容もあると考えますので、全体的に見て以下の第1、第2図書を選択いたしました。

第1図書につきましては、基本的に見開き構成とし、その時間に学習する内容が一目で分かる工夫がございます。また、1つの単元が実生活に基づいたストーリーで展開されており、生徒と同世代の人物の目線で考えることができるよう工夫されています。さらに、単元の目標を達成するため、言語活動を通して段階的に学び、考え、表現するよう構成されてもいます。ほとんどのページに2次元コードが設置されており、生徒が各自の課題に応じて主体的に学習に取り組めるようなコンテンツも準備されています。

第2図書につきましては、目次に単元の活動目標が具体的に示されており、学習の展望を持ちやすくする工夫がしてございます。単元のまとめの言語活動において、生徒が学習の到達度を自己評価しながらスモールステップで取り組み、4技能5領域を統合的に活用できるよう内容及び構成が工夫されていると考えます。さらに、二次元コードにより音声や映像を基に興味関心を引き出す工夫が多様でございます。帯活動用に即興で伝え合う活動を支援する資料や語順カードの掲載など、文構造の理解を体験的に学ぶ工夫もございます。

これらの両者を比較いたしますと、第1図書のほうが、デジタルコンテンツを含め、主体的な学習や多様な言語活動に対応するための内容を多く設定している点で優位だと考えます。

以上の結果から、第1推薦の図書として三省堂の作品を、第2推薦の図書として東京書籍の作品を推薦申し上げます。

最後に、種目道徳についてご報告申し上げます。

対象となった7社の図書は、中学校学習指導要領、特別の教科道徳の目標に基づいて内容や構成が考えられています。道徳科の学習において、深く考える、対話に基づいた議論を実現するために、生徒にとって身近なものにするための視点に基づいて教材を選定し、異なる立場からの意見を取り上げたり、新聞の意見投書文を活

用した教材を掲載したりするなどの工夫が見られます。また、コラムが多数掲載されており、単元に関する興味関心を高めながら多様な展開も期待できます。さらに、いじめ問題をはじめ現代的課題に向き合うための複数の教材が設けられ、対話しながら身の回りの当たり前を問うこともできます。

とりわけ、第1、第2図書につきましては、5つの観点で吟味いたしますと、発問の種類や数、問題解決的な学習の展開となるものや、自分の考えを深めたり広げたりするための工夫が見られます。こうした調査結果を踏まえ、考え議論する道徳、多様な見方へと発展させ自分の生き方について深く考える道徳の実現の面から、第1、第2図書を選択いたしました。

第1図書につきましては、物事を多面的、多角的に考えられることを促すために、文章ではなく漫画やイラストを主たる資料とした教材や、ストーリーに関連する写真が豊富でございます。また、各学年の巻末には、話し合い活動を円滑にするための心情円が設けてあります。さらに、各教材には、人間としての生き方を深く考えるための問いが設定してあります。

一方、第2図書につきましては、各教材に内容項目について考える場面のほかに、別の立場や視点から考えることができる問いが設定されてあります。また、生徒同士で様々な立場の意見を交流する場面や、学んだことと日常生活などをつなげ、考えをさらに深めるための問いが設定してございます。

これらの両者を比較いたしますと、第1図書のほうが、道徳科での考える方法、学び方は様々であるということを提示し、考えるときの手段が分かりやすくまとめられており、道徳科の学習の理解をより深められるような工夫がなされていると考えます。また、多面的、多角的に考えられるように、文章ではなく漫画やイラストを主たる資料とした様々な形の教材や理解を補足する資料が多数設けられております。これらの点で、第1図書の方が優位であると考えます。

したがって、以上の結果から、第1推薦の図書として東京書籍の作品を、第2推薦の図書として光村図書の作品を推薦申し上げます。

以上で私からの報告を終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

それでは、ここからは質疑応答をお願いいたします。

とりわけ種目の順番は決めておりませんので、委員さんのほうからお願いいたします。

○ 京極委員：詳細なご報告ありがとうございました。

これだけ教科書は今すごく良くなっているので、選定するのはなかなか大変だったのではないかなと思います。

幾つか質問があるんですけど、1つは国語に関しては、書くことの重要性は結構あると思います。なかなか文章が書けない子が増えていて、やっぱり話し言葉と書き言葉は違うと思うので、書くところの重要性を示したのは、東京書籍とか光村図書になるのでしょうか。

- 福田選定委員会委員長：一問一答でよろしいですか。

今おっしゃっていただいた読み書きの話し言葉と書き言葉はやはり違うのではないかということ。書き言葉についての指導について、東京書籍と光村図書はどのような違いがあるのだろうかということにつきまして、選定に関する議論の中で、書き言葉についての議論は特にしてはいないのですけれども、私のほうで委員の皆さんと一緒に議論をする中で、例えば東京書籍のほうでは言葉の力というところに、例えばあふれるとこぼれるっていう言葉がどう違うのかということを説明しているページがございまして、そのところで、あふれるというのはこういう意味で、こういう場面でこういう意味で使う、こぼれるというのはこういう意味で使うんだということを丁寧に押さえながら、じゃあこの場面ではどちらの言葉を使ったらいいんだろうというようなところが、1つの典型でございすけれども、そうした言葉について一つ一つ丁寧に押さえるような工夫がなされているなと思いながら拝見しておりました。そんなところを丁寧にご指導の場面で押さえていただけると、今おっしゃってくださったような話し言葉のみならず、書き言葉、書く際の工夫は、書く際の視点、手がかりを子供たちが見つけることができるのではないかと期待いたします。

- 市場教育長：ありがとうございました。
- 京極委員：東京書籍の作品を見ていくと、やっぱりノートの書き方とか、ちゃんと項目とかあります。だから、そういう面では東京書籍のほうが優れている。私の意見からするとそういうところも選定の理由になったのかなと思いましたし、図書館の利用の仕方だとかいろんなことが書いてあるので、そういう面では私も確かにこちらのほうがいいのかと思いました。ありがとうございました。
- 市場教育長：関連して、国語でご質問がある方はお願いいたします。
- 柏崎委員：素朴な疑問ですけど、単元のまとめに注目して各社見させていただいたときに、光村図書だけまとめのところが横書きになっていました。国語は主に縦書きをする教科なので、まとめのところが横書きになっているのにちょっと違和感を覚えました。何か決まりなどありますか。
- 市場教育長：福田委員長、お願いします。
- 福田選定委員会委員長：その点につきましては、私も何かしらの決まりとかルールがあるのか、大変恐縮ですが存じ上げないというのが正直なところでございます。
ただ、日本の例えば最近の我々が大学の授業で使うテキスト等でも、横書きの作品っていうのは割と多いですので、その意味では違和感はなかろうかと思います。
ただ、これは私個人の感覚でございますが、やはり縦書きのほうが読みやすいと思いますので、個人的にはそちらのほうがいいかなと思いますが、今のご質問にお答えするのなら、特別のルールがあるのか私はちょっと存じ上げないということになります。申し訳ございません。
- 柏崎委員：最近は横書き、タブレットも全部横書きなので、そういうのが入ってきているのだなというのが何となく分かりました。ありがとうございます。

- 島本委員：国語に限らずですが、どの教科書も2次元コードを活用しているわけですが、例えば国語でいくとどんな活用の仕方になるのか、具体例があれば教えてください。
- 福田選定委員会委員長：2次元コードの具体的な使い方でございますけれども、本当に各社いろんなものが工夫されておられて、こんなこともできるのというのもありはしましたけれども、やはりすごくオーソドックスなのは文学作品の朗読でございますとか、そういったものに使うことが多かろうと思います。
- 島本委員：分かりました。数学の操作的なこととか、理科の映像とかというイメージがすごくある、国語ではどう使うのかなと思ったので、聞かせていただきました。
あわせて、やっぱりQRコードを使ったこういう学びというのは、好きなときに自由に子供たちもできるし、主体的にもできる。それから今言われている個別最適な学びにすごく効果的だと思うのですが、これは教師が編集したりすることはできますか。例えば、ねらいとか実態とかが違いますよね。なので、そのQRコードで出したものを教師が操作することはできるのですか。
- 福田選定委員会委員長：基本的には、先生方によって何か変更するということは難しくかろうと存じます。
ただ、ちょっと忘れてしまいましたが、自分書き込んだものをPDFとエクセルファイルとワードで、この3つは用意されていて、これを生徒さんたちがタブレット、あるいはパソコン上で手書きではなくて打ち込むことができるようなものもあるようでございますので、そういった工夫はできるのかと存じます。
ただ、編集という意味では、今現時点では難しいと考えております。
- 島本委員：分かりました。ありがとうございました。
- 渡部教育長職務代理者：ご紹介ありがとうございました。
今回のテキストを拝見しまして、非常に映像もきれいで、写真もイラストも大変きれい。その中で、とくに2次元のデジタルコンテンツとか、そういったものを使用して生徒がそれを見ることができるというのは大変画期的なことだと思っております。
特に、保健体育のほうでは、運動とか、技ですとか、そういったものを実際に映像で見られるというのは理解を深めるために大変いいことだと思います。今回、拝見しますと、学校で学ぶ、いわゆる体育の時間で学ぶこと以外に、災害のあったときにどのように逃げるかとか、あるいはどのように命を助けるかとか、そういったことも網羅されておりました。これはどこの教科書というわけではございませんけれども、重要なことだと認識をしております。
今回オリンピックがありまして、いろんな映像、格段に細やかな技も解説ができて、ああいったもので子供たちが感性でそういったものをつかんでくる、その上で理屈がどうなっているのかなということを学んでいくのも新しい時代の在り方かなと思いました。
- 市場教育長：それでは、国語以外でも構いませんので、質疑応答を進めていただきました

いと思います。

- 京極委員：例えば数学。算数から数学になるので、かなりそこに段差があって、導入が難しいと聞いていますし、英語もそういうところがあるのかもしれないです。そういう面では、今回この教科書を見せていただいた中で、確かに数学、第1候補に上げられている東京書籍は、やっぱり分かりやすく入っていったような気がしますし、英語の教科書のほう、三省堂だと思いますけれども、アメリカの大学の英語学校に入って最初に習う教科書に非常に近い形があったので、やっぱりそういう実体験に関係する内容が入っているというのは、両方の教科書とも見受けられたので、そういう観点から検討されているんでしょうね、この内容からすると。

- 福田選定委員会委員長：私も、個人的なところで恐縮ですが、数学というのがとても苦手でしたので、今回はっきり言ってこんな勉強ができるかというのはすごく印象深いところがありました。

例えば、数学で申し上げますと、正負の計算をやるときにも、今日もとんでもない暑さでしたが、昨日に比べてマイナス何度というあたりから、その正負の数を考えるでありますとか、あと平面図形を捉える際に、車椅子に乗った人が上手に楽ちんで方向転換するためにはこれぐらいの幅が最低でも歩道には要るんだと、その幅ってどれぐらいだというようなことを計算するような、その平面図形の考え方から導き出すようなものの事例として取り上げられていて、数学は訳が分からない抽象的な話だと私が子供の頃は思っておりましたけれども、生活の中での数学がある、あるいは数学があるからこそ実生活でいろんなものが見えてくるということも意識して、教科書として作っておられる、作ろうとなさっておられるというのがよく分かるものだったかと思います。

英語につきましても、日常の中で実際に言語を異にする人たちと出会って話すときにまずここから分からないと難しいよねというのが分かっておられて、委員がおっしゃっておられたご意見と同様な感想でございます。

- 京極委員：ありがとうございます。

特に、数学はすごく生徒間の学力差がつくような気がします。特に東広島はレベル差が大きいので、そういう面でやっぱり東京書籍は演習問題とかのレベル、中身の内容についても結構高いところが入っているのですか。ちょっと私はそこがよく分かりませんけど。

- 福田選定委員会委員長：レベルの高いというより、ちょっと誤解を恐れずに申し上げるのであれば、現時点での学力に差があっても、それぞれの知恵を出し合って何でこうなるかということをいろいろ話し合いながら、ああそうかということにつながる材料としてこういったものをご用意なさっているのではないかというふうに思います。

- 京極委員：よく分かりました。ありがとうございました。

- 島本委員：数学でいけばゼロ章を設けられていますよね、東京書籍は。それで、算数から数学へということで、先ほど話もありましたけれども、接続をうまくいくよう

な工夫がされていると思います。そして、最後にはもう自由研究までいっている。限られた時間の中で基礎のところから、自由研究までいくということですけど、理解していくことは楽しいことだ、分かることは楽しいことだとか、それから自分が今やっていることは何かに役立っているということが実感できるというのが、やっぱり数学が好きになる条件ではないかなと思います。そういう意味では、ゼロ章というのはヒットだなというふうに思いました。

書写ですが、授業時数は少ないのではないかと思います。道具を出して基礎基本を学び、時間的に活動は制限されるのではないかなと思うのですが、光村図書で面白いなと思ったのは、ただ課題をこなすだけではなくて、それが何か生活の何に役立つのかというところで、例えばクラス対抗の横断旗をつくったりとか、学級目標の旗をつくったりとか、年賀状をつくったりというような、他教科で活動することにこれが役立つというような、横断的なところを挿絵として出していらっしゃる。子供たちにとっては習字道具を出してきちんとした字を書くというだけではなくて、これが生活を楽しくするんだというところにつながるというのが面白いなと思いました。

それから、防災フェスタを開こうということで、その看板を作ったり受付を作ったりというようなところに手書きの字をするというふうな学習展開でした。今の社会の問題や実生活に自分が書写を習っていることが役立つところを表しているところで、書写の幅の広いところを今回教科書で見せていただいたなと思いました。

○ 市場教育長：書写での関連はないですか。

それでは、その他の種目についてお願いいたします。

○ 京極委員：技術ですけども、今結構実習はするのですか。

○ 福田選定委員会委員長：明確なところは承知をしておりますけど。

○ 京極委員：今回どれもすごいなと思いましたけど、技術で選ばれているのが東京書籍で、結構細かく書いてあります。実習のときにはこのデジタルコンテンツを見なさいといった雰囲気があるので、それはそれでいいと思いますけども、ほかの2社はどちらかというと従来の教科書どおりに書いてあるので、実習が主体だったらそちらの方がいいのかなと思いましたし、その後、深く理解するならば東京書籍のほうがいいのかなと思いました。すみません、ちょっと難しい質問かもしれませんが。

○ 市場教育長：福田委員長、いいですか。

○ 福田選定委員会委員長：やはり技術分野の学習が、これも誤解を恐れずに申し上げると、ただ物をつくるだけというようなものではなくて、今回印象的だったところは、テクノロジーというものがとりあえず何か作ろうではなく、社会の中にこういう問題があるとか、世の中に今解決すべきこういう現状があって、そこを乗り越えていくために物づくりは生まれてきたこととか、いろんな工夫がなされてきたこと、それを今教室のこの場でやろうとしたらこういうことができるというのを子供たちに気づかせるような、そういった構成をしようとなさっておられるのかなと思います。いながら拝見したところでございます。

そういう意味で、小学校の図工と何が違うのかというような話ではなく、やはりテクノロジーというものがどのような背景の中で生まれ発展してきたのかということを考えるような教科書を目指しておられるのかなという印象を受けました。

- 京極委員：了解しました。ありがとうございました。

確かに中を見るとそんな形になっているので。そういう面では、どういう原理なのかとか、なぜ必要なのかということとちゃんと理解をさせる教科書になっているようなので、それはいいことだなと思いました。ありがとうございました。

- 市場教育長：そのほかにありませんか。

- 柏崎委員：同じく技術の分野ですけど、木工と野菜を育てるのと、エネルギーとテクノロジーと分野が分かれていましたけど、テクノロジーのあたりがおそらく高校の必修になった情報Ⅰにつながっていくのではないかなと思って見ました。高校にスムーズに移行できるように、考慮がされているのかなというふうに感じました。いかがでしょうか。

- 福田選定委員会委員長：今おっしゃられたように、そういった側面も意識しておられるものとは、拝察いたします。

ただ、今回は中学校、義務教育課程最後の教科書でもございますので、中には中学校を卒業して、いわゆる学校というところとは縁遠い生活をする生徒、子供たちもいるかと思えます。そうした子供たちに対して、どうしても知ってほしいこととして、やっぱり先ほど説明した内容があるかなと思っておりますので、高校に接続するという話だけではなく、中等教育の公教育の任務として、このあたりを子供たちに届けたいということがあっての内容の編成ではなかろうかと考えております。

- 柏崎委員：分かりました。ありがとうございます。

- 島本委員：道徳ですが、見せていただいて、小学校で学習した教材が載っています。

1年生だったらはしのうえのおおかみ、2年生だったら泣いた赤おにとか。道徳はずっと切れるのではなくて、小学校でこんなことも習ったねというのが中学校の教科書に載っていると基本的なことも踏まえられる。

8項目に合わせて、ただ並べるだけではなくて、小学校との連携があったり、社会的な問題を取り上げているものもあったり、内容的に豊富だなと思いました。教科書を見ていたら、ついつい読んでしまう。なので、道徳の時間、50分の時間の教材だけではなくて、道徳の授業以外のときに読み物資料というか、そういうことで何か生徒たちもそれを読むという、その見返りに何かを学習するわけではないですが、読みたくなるということも道徳だなというふうに思います。

- 京極委員：全部の科目ですけれども、最近の教科書は教科書の中に書かせるところが多いですね。何とかシートがついてたりとかということで、実際からいうと、生徒たちがノートを書くということは、先生は多分板書されているのだろうと思いますが、ノートのつくり方というか書き方というのはどんなふうになっているのでしょうか。先生にお聞きするのも変な話なのかもしれませんが、ちょっと教えていただければありがたいです。

- 福田選定委員会委員長：それぞれの教科であったり、それぞれの先生方のお考えであったり、いろいろだろうとは理解しますが、やはりノートは学んだ記録でもあります、かつこのときに自分が考えたことを書きつけるということでもありますので、そのノートの取り方については、工夫は大事なところだろうと思います。

とりわけ、中学校での授業ですので、板書して、写しとけという話ではなく、その板書を書きながら先生がおっしゃった内容であったり、教室での友人の発言したことをメモしながら、何であんなことを言ったのかなとか、先生は何であんなことを言われたのかなというようなことを書き取ったり、自分の考えをまとめていくためのもの、板書を写し取るだけではなく、その時間に自分が考えたことが書きつけてある、そういったものが後で振り返ったときの大切な学びであり、また友達の理解につながるようなものとしてつくられるのだろうと思います。

そういったものを書くことができる、そんなノートをつくることができるようになるご指導を先生方にはぜひお願いしたいところではありますけれども、そのための基になるものとしての教科書が、人の、友達の意見を書きたくなるような内容がふんだんにあったり、友達との話を深めたりというようなことを考えられるようなことを用意されている教科書が多かったのも、そういったことがノート指導にもつながる可能性はあるのかなと、先生のお話を伺いながら思っていたところです。

- 京極委員：ありがとうございます。すみません、ちょっと外れた質問でしたが。
- 市場教育長：それでは、委員の皆様からの質疑ももう尽きたと思いますので、これで質疑応答を終えたいと思いますが、よろしいでしょうか。
- 委員：よろしい。
- 市場教育長：それでは、福田委員長さん、ありがとうございました。
- 福田選定委員会委員長：ありがとうございました。
- 市場教育長：退室をお願いいたします。
- 福田選定委員会委員長：失礼いたします。
- 市場教育長：これからは、委員の皆様によるご審議をお願いいたします。

審議は、国語から道徳まで1種目ずつ順番に行いたいと思います。もし審議の中で、改めて委員長に質問したいことがあればまた申し出てください。

それでは、まずはじめに国語につきましてご意見、ご感想等がありましたらお願いいたします。

先ほどご意見がありました、国語についてはよろしいでしょうか。

続きまして、種目書写についていかがでしょうか。これも先ほどご意見がありました、いかがでしょうか。

続きまして、社会の地理的分野についていかがでしょうか。

続きまして、社会の歴史的分野についていかがでしょうか。

続きまして、社会の公民分野はいかがでしょうか。社会全般として何かありますか。よろしいでしょうか。

- 島本委員：社会科でいけば、課題解決学習だと思いますので、どの分野でもまず課題

をつかむ、そして追求する、そして解決するという、そういう３段階の問いを投げかけて課題解決学習を進めていくというところはいいなと思います。

それと、やっぱり社会科は資料が命、メインですので、そういう豊富な資料、効果的な資料も活用されていると思いました。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

関連して、他にありますでしょうか。

続きまして、地図についていかがでしょうか。

ないようですので、続いて数学はいかがでしょうか。

続きまして、理科はいかがでしょうか。

続きまして音楽（一般）はいかがでしょうか。

○ 島本委員：音楽については、教科書にそんなに大きな差はないと思いますが、ルールを守って音楽を楽しもうということで、著作権についてここで取り上げられているのは、中学生にとっては大事なことだなというふうに思いました。

それから、サザエさんや、笑点のテーマとか、子供たちが興味を持つような曲が入っているのも面白いなと思いました。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

そのほかにありませんか。

それでは次に、音楽の器楽合奏についてはいかがでしょうか。

それでは続きまして、美術についてはいかがでしょうか。

それでは続いて、保健体育についていかがでしょうか。

○ 渡部教育長職務代理者：保健体育に関しましては、非常によくできた教科書が多かったと思います。その中で、ご推薦いただいた教科書は、全体を網羅する中で、子供たちがより理解しやすいような工夫や実技、実際の現場でどう動くかということも含めたきめ細かな指導ができるようにもされたかと思います。以上です。

○ 市場教育長：続きまして、技術・家庭の技術分野、先ほどご意見がありましたが、いかがでしょうか。

では続きまして、技術・家庭の家庭分野についてはいかがでしょうか。

続きまして、英語はいかがでしょうか。先ほど小中の接続といった視点からのご意見がありましたが、他にはありませんか。

それでは最後、道徳についてはいかがでしょうか。これも先ほど、小中共通の教材がそれぞれによって感じ方も違うだろうということでご意見がありました。

一通り種目ごとにご意見、ご感想をお伺いしましたけれども、改めてもう一度全体を通じて、また個別のものでも構いませんが、ご意見がありましたらお願いいたします。

それでは、各委員のご意見もある程度出尽くしたということで、かつその意見もまとまる方向性というのが見られましたので、採択に移らせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

それでは、まず国語は東京書籍とすることによりよろしいでしょうか。

○ 委員：よろしい。

○ 市場教育長：それでは、東京書籍と決定いたします。

採択理由は、当該図書は各単元の学習活動の手順を示した手引等において学習の見通しと振り返りがより明確に位置づけられており、生徒が国語の見方、考え方を働かせながら探求的に学べるよう配慮されている。読書活動についても、お勧めの本の紹介に加えて読書会といった活動や識者のコラムを掲載するなど、生徒が主体的に読書活動に向かうよう工夫されている。また、話し合い等を行う単元において、発揮される言葉の力が明記されるとともに、テーマの例、想定される意見の例などが豊富に掲載されており、生徒の言語活動の充実に資する工夫がなされている。

さらに、各教材の冒頭において吹き出しで分かりやすく課題を示し、教材の末尾の振り返りで自分の言葉でまとめさせるなど、生徒の単元に対する興味関心を高め、主体的・対話的で深い学びを促すなどの工夫がある点とします。

続きまして、書写、これは光村図書とすることによりよろしいでしょうか。

○ 委員：よろしい。

○ 市場教育長：それでは、光村図書と決定いたします。

採択理由は、行書に調和する仮名の特徴が理解できるよう、仮名の形を図形で囲むことで分かりやすく示すなど、他に比べて行書を学ぶ意義を生徒に気づかせる工夫がある。また、冒頭の別冊書写ブックを取り外して硬筆の学習に活用することができ、知識や技能の定着に関する工夫がある。さらに、冒頭に中学書写スタートブックを配置し、書写の基礎、基本を分かりやすく示しながら学習の進め方やタブレットの活用の仕方について掲載しており、生徒の書写に対する興味関心を高め、主体的・対話的で深い学びを促すなどの工夫がある点とします。

続きまして、社会（地理的分野）は東京書籍とすることによりよろしいでしょうか。

○ 委員：よろしい。

○ 市場教育長：それでは、東京書籍と決定いたします。

採択理由は、単元のまとめの活動で、具体的な見方、考え方を明示したり、見方、考え方を働かせる探求活動を設定したりしている。チェックとトライという見出しがあり、学習した内容を振り返るだけでなく、学習内容を活用して考察したり表現したりする活動があり、基礎的、基本的な内容を確実に定着させるための工夫がされている。また、スキルアップやもっと知りたいなど、補足説明もある。まとめを行う活動では、自らの考えを整理したり表現したりすることができるよう小集団で活動するコーナーや、見方、考え方を働かせて探求課題に答える活動があるなど、作業的、体験的な学習が豊富に掲載されている。さらに、学習内容を活用して考察したり表現したりする作業的、体験的な学習課題がより工夫されており、確実な知識、技能の習得だけでなく、思考力、判断力、表現力等を育成するための手だてが施されているなどの工夫がある点とします。

続きまして、社会（歴史的分野）は東京書籍とすることによりよろしいでしょうか。

○ 委員：よろしい。

- 市場教育長：それでは、東京書籍と決定します。

採択理由は、単元のまとめにおける活動で、基礎的、基本的な知識の定着を確認する課題や、その時代の特色を文章で表現するだけでなく、探求活動の解決に向けて様々なツールを活用しながら学びを深めていくような工夫をしているということ。また、単元構成において３段階の問いを設定することで無理なく課題解決に向けた学習を進めることが可能で、様々な思考ツールを活用し、学びを深める活動や話し合いなど対話的な活動も設定している。毎時間デジタルコンテンツを掲載しているので、学校や家庭での多様な学びに対応することも可能である。さらに、課題解決的な単元構成における問いが充実している点と、主体的・対話的で深い学びを実現するための多様な活動が設定されている点などの工夫がある点とします。

続きまして、社会（公民分野）は東京書籍とすることよろしいでしょうか。

- 委員：よろしい。

- 市場教育長：それでは、東京書籍と決定いたします。

採択理由は、巻末、章末、そのまとめの活動で、学習者が対話を通じて学習内容を深める課題解決的な活動を設定したり、探求的な活動につなげたりして、対話を通じて学びを深めていくような工夫をしている。また、興味関心を喚起する導入資料、何について学習するのかが分かる学習課題、学習内容を整理し、自分の言葉でまとめるチェック、トライで構成されており、知識の確実な定着を図る工夫がされている。教科、分野関連の関連マークを配置し、他教科や他分野との関連や既習事項との関連が図られている。さらに、小單元ごとに探求のステップを設定し、それらを章末で整理、分析することで、項目の狙いの達成や主体的に取り組むことのできる学習活動を設定するなどの工夫が見られる。課題解決的な学習活動や、生徒が主体的に学習に取り組む活動が豊富に設定されているなどの工夫がある点とします。

続きまして、地図は帝国書院とすることよろしいでしょうか。

- 委員：よろしい。

- 市場教育長：それでは、帝国書院と決定いたします。

採択理由は、全編を通じて地形が捉えやすいように、等高段彩表現に陰影表現を合わせた立体感のある地図表現になっている。また、世界地図に同緯度、同縮尺の日本地図が掲載されており、日本との比較ができるよう工夫されている。さらに、地図読解のための統計資料や図版資料等に加え、２次元コードを掲載し、学習を深める動画へのリンクや地域別資料等のコンテンツが閲覧できるとともに、地図活用等の地図読解の着眼点も掲載がある。日本の基本図、拡大図、都市圏図、都市図に各地の伝統的工芸品や世界文化遺産が掲載されており、伝統や文化に関する学習に役立つ。また、世界、日本の資料は地域の特色が偏らずに理解できるよう、多角的に地図、資料が選定されていることから、授業の実態に応じた幅広い学習に対応できる点とします。

続きまして、数学は東京書籍とすることよろしいでしょうか。

- 委員：よろしい。
- 市場教育長：それでは、東京書籍と決定します。

採択理由は、基礎的、基本的な知識や技能の習得のための丁寧な手だてとともに、日常生活や他教科、社会や今日的課題、防災、安全、環境、多様性の尊重、伝統文化の尊重などとの関連を図り、学習内容や考え方を多方面で活用できるよう工夫していると。また、全ての領域においてデジタルコンテンツを備え、動画やシミュレーション等による視覚支援、フラッシュ演算での反復練習、難易度の高い問題等、幅広く充実している。加えて、個別最適な学びへの対応、さらには多様な困難さを抱える生徒への支援等、ユニバーサルデザインの学びにも活用が期待される。総じて、他教科や社会、今日的課題とのつながり、デジタルコンテンツを含めた内容の充実がある点とします。

続きまして、理科は啓林館とすることによろしいでしょうか。

- 委員：よろしい。
- 市場教育長：それでは、啓林館と決定いたします。

採択理由は、生徒が理解しやすいように資料や動画の内容、分量ともバランスよく精選し示されており、主体的に学習が進められるよう工夫がされている。伝統や文化に関する内容や教科横断的な学習に関する内容も充実している。冒頭部分で探求の過程を図とイラストを用いて示すとともに、各章の最初に身近な事象を課題として設定し、学習後に再度振り返る工夫がされている。また、単元末には学んだ学習内容を活用した新たな課題に取り組めるような工夫がされている。さらに、生徒が探求的な学習を進めていくために、探求の過程を生徒自身が書き込むシートを領域ごとに掲載しており、探求の流れをつかみやすくするような工夫などがある点とします。

続きまして、音楽（一般）は教育芸術社でよろしいでしょうか。

- 委員：よろしい。
- 市場教育長：それでは、教育芸術社と決定いたします。

採択理由は、音楽的な見方、考え方を働かせる際の視点となる、音楽を形づくっている要素を分かりやすく提示するなど、知識の定着を図り理解を深めるための工夫が見られるほか、創作においては生徒個々が容易に創作を行い、クラス全体でも共有が可能なツールが用意されるなど、主体的、協働的に学習に取り組む工夫がされている。また、社会や生活の中の音や音楽が全学年で掲載されており、SDGsに触れることも含めて生活や社会における音や音楽の働き、音楽文化についての関心や理解を深めていくため、内容の取扱い等に工夫が見られる。また、生徒と教師が学習の視点を共有しながら授業を展開しやすく、また生活や社会の中の音や音楽との関わりを学びやすい工夫がされている。さらに、2次元コードによる効果的なデジタルコンテンツが用意されており、生徒が個別に学習を深めたり、他者と協働して課題解決に取り組んだりするなど、主体的で多様な音楽の学習活動を展開できる可能性がある点とします。

続きまして、音楽（器楽合奏）は教育出版とすることによろしいでしょうか。

- 委員：よろしい。
- 市場教育長：それでは、教育出版と決定いたします。

採択理由は、各楽器の構造、種類、奏法、構え方、運指などが的確に提示されている。また、表現の仕方を調べてみよう、吹く楽器の仲間たち、弾く楽器の仲間たちにおいて、楽器を比較しながら演奏や楽器の構造や音色などについて探求的に学習することができるよう工夫されている。さらに、リコーダーなどの楽器演奏では、生徒の興味関心を引き出す、身近で演奏しやすい楽曲を数多く取り扱っている。楽器を、吹く楽器、弾く楽器、打楽器のまとまりで示し、我が国や諸外国の楽器や音楽文化を比較しながら理解できるような工夫も見られる。生徒に身近な楽曲も含め、より多くの楽曲を取り扱うことで生徒の主体性を引き出し、多様な活動を行うことが可能になると考えられる。合奏のみならず演奏や楽器の構造や音色、我が国や諸外国の楽器や音楽文化などについて、音楽的な見方、考え方を働かせながら整理したり、交流して共有したりする場がより多く設定されており、他者と協働しながら思考、判断、表現する学習を充実することが期待できる。さらに、ギターのコード表に運指が写真で掲載されるなど、表現、表記がより演奏法を理解しやすいものとなっており、知識や技能の定着が図りやすいようにも工夫が見られる点とします。

続きまして、美術は光村図書とすることによろしいでしょうか。

- 委員：よろしい。
- 市場教育長：それでは、光村図書と決定いたします。

採択理由は、観点5、内容の表現、表記において、原寸での表し方や質感のある用紙の使用等、本物に近い感覚で鑑賞できる工夫をしている。題材のはじめに表現につながる鑑賞作品を掲載し、表現と鑑賞の相互の関係を意識し、1つの題材の中で一体的に学べる構成になっている。また、様々な表現の技法や材料の使い方が掲載された別冊資料を用意し、生徒が資料を活用しながら主体的に制作を進めていくための工夫がある点とします。

それでは続いて、保健体育は大修館とすることによろしいでしょうか。

- 委員：よろしい。
- 市場教育長：それでは、大修館と決定いたします。

採択理由は、配当時間と構成における工夫はもとより、主体的・対話的で深い学びの実現しやすさ、知識及び技能の習得のしやすさなどの工夫も見られる。また、全ての内容項目を1見開き1単位時間の構成とし、学習指導要領に示されている体育理論9項目、保健分野48項目で配列を工夫している、イラストや資料によって気づきや思考を促し、主体的・対話的で深い学びへの深化を図る工夫をしている。さらに、各章の章末において知識及び技能を習得させるため、多様な設問が掲載されている。また、効果的な課題提示をしており、生徒にとって課題が発見しやすい工夫などがある点とします。

続きまして、技術・家庭（技術分野）は東京書籍とすることよろしいでしょうか。

- 委員：よろしい。
- 市場教育長：それでは、東京書籍と決定いたします。

採択理由は、体的に見て内容の構成、表示の面等において工夫が充実している。また、章末に重要語句の一覧と基礎問題を掲載し、学習の振り返りを行うことで基礎、基本の定着が図られるよう工夫されている。問題解決学習を進めるに当たり、イラストの吹き出しを用いて思考するためのヒントが掲載されていたり、思考ツールを紹介し、考えを整理する方法が示されたりするなど、主体的に取り組める工夫がなされている。加えて、PDCAサイクルの考え方を実習に取り入れ、主体的、協働的に取り組めるよう工夫されている点とします。

続いて、技術・家庭（家庭分野）は東京書籍とすることよろしいでしょうか。

- 委員：よろしい。
- 市場教育長：それでは、東京書籍と決定いたします。

採択理由は、全体的に見て主体的な学びにつながる工夫が充実しているということ。また、五大栄養素と6つの食品群の関連を折り込みページで示し、関連を分かりやすくするための工夫がされている。各編の導入は見開きで構成され、資料性の高い資料やイラストを用いて生徒の興味関心を高め、見方、考え方の例が示されている。さらに、動画やシミュレーション、図鑑などのデジタルコンテンツが豊富で、まつり縫いやスナップ付けでは右利き、左利きの両方のコンテンツがあるなど、多様な生徒の実態について配慮されている。家庭科の学習を生活の自立に必要な基礎的、基本的な知識、技能の習得につなげる視点でまとめられているなどの工夫がある点とします。

続きまして、英語は三省堂とすることよろしいでしょうか。

- 委員：よろしい。
- 市場教育長：それでは、三省堂と決定いたします。

採択理由は、生徒が身近に感じたり考えたりすることができる内容が豊富である。各単元のはじめに、単元のゴールにつながる表現や写真、イラストが掲載されており、生徒にとってゴールがイメージしやすい。4技能5領域を統合した活動や教科横断的な学習につながる内容もある。また、基本的に見開き構成とし、その時間に学習する内容が一目で分かる工夫がある。1つの単元が実生活に基づいたストーリーで展開されており、生徒と同世代の人物の目線で考えることができるよう工夫されている。さらに、単元の目標を達成するために、言語活動を通じて段階的に学び、考え、表現するよう構成されている。ほとんどのページに2次元コードが設置されており、生徒が各自の課題に応じて主体的に取り組めるようなコンテンツも準備されている点とします。

続きまして、道徳は東京書籍とすることよろしいでしょうか。

- 委員：よろしい。

○ 市場教育長：それでは東京書籍と決定いたします。

採択理由は、5つの観点で吟味すると、発問の種類や数、問題解決的な学習の展開となるものや、自分の考えを深めたり広げたりするための工夫が見られる。物事を多面的、多角的に考えられることを促すために、文章ではなく漫画やイラストを主たる資料として教材やストーリーに関連する写真が豊富にある。また、各学年の巻末には、話し合い活動を円滑にするための心情円が設けてある。各教材には人間としての生き方を深く考えるための問いが設定してある。さらに、道徳科で考える手法、学び方は様々であることを提示し、考えるときの手段が分かりやすくまとめられており、道徳科の学習の理解をより深められるような工夫がされている。また、多面的、多角的に考えられるように、文章だけでなく漫画やイラストを主たる資料として、様々な形で教材や理解を補足する資料が多数設けられているなどの工夫がある点とします。

以上、令和7年度に中学校で使用する教科用図書について採択図書を決定いたしました。

再度確認いたします。

国語、東京書籍、書写、光村図書、社会（地理）、東京書籍、社会（歴史）、東京書籍、社会（公民）、東京書籍、地図、帝国書院、数学、東京書籍、理科、啓林館、音楽（一般）、教育芸術社、音楽（器楽）、教育出版、美術、光村図書、保健体育、大修館、技術・家庭（技術）、東京書籍、技術・家庭（家庭）、東京書籍、英語、三省堂、道徳、東京書籍です。

事務局につきましては、経緯の報告など事務手続に滞りのないようよろしくお願いいたします。

それでは、以上で本日の議題は終了いたしました。

それでは、会議を閉会いたします。傍聴人の方は退席をお願いいたします。

皆様、ご協力ありがとうございました。

閉会 午後3時16分